

## 学年目標

『人との関わり合いを大切にする人になろう』

2学期が始まりました。学校の中心となり活動する準備をしよう。

皆さん、夏休みは充実していましたか。宿題や間遠学習に取り組んだことでしょうか。

時間というものは、自分なりに有効に使っていると充実感が増します。2学期は授業に集中することはもちろんですが、学校の中心として活躍する場面が増えます。一つ一つの行事に対して、2年生が学校の中心となり、学年全体に充実感や満足感を得て、よりよい西富士中にしていきましょう。静岡県にも「緊急事態宣言」が発令された中での2学期スタートとなりました。

毎日を健康に過ごすために「手洗いうがい・マスク着用・3密の回避」を徹底していきましょう。

## 日本各地で実際にあった出来事

記事

タクシーが乗車拒否 静岡病院スタッフ

### ◆「差別」という禍

最前線の現場で奮闘する医療従事者らがタクシー乗車を拒否された。また、子どもが保育施設登園を拒否されたり、同居家族が勤め先から休むよう指示されたりした。



令和2年4月25日

なぜ このようなことが起きるのでしょうか。

私たちは、どうすれば よいのでしょうか。

## 上手にコミュニケーションをとるための10のヒント

- 1 話しやすい場所と時間を設ける
- 2 よく聴く姿勢・態度を示す
- 3 話の内容を否定や批判をせずにそのまま受け止める
- 4 何か他のことをせずに集中して話し合う
- 5 相づちを打ったり頷いたりして話を聴く
- 6 その行動をした時の気持ちを共に感じる
- 7 相手が使った言葉を用いて返し、理解していることを伝える
- 8 良い点を見つけてほめる
- 9 会話が進んでいくように考えて質問をする
- 10 相手の動作に応じて鏡のように自分の動作もあわせてみる

子どもと話し合うときは、諭すのではなく、話を聞く姿勢が大切です。

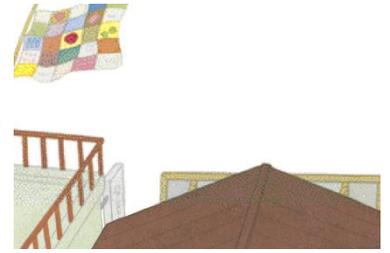
## 道徳の授業から 「旗」

主題名 友達によさ

ねらい 友情の尊さを理解するとともに、真の友情を築くために互いに信頼し、励まし合おうとする実践意欲を高める。

内容

転校してまもなく交通事故にあい入院、自宅療養を余儀なくされた主人公の少女が窓の外にひるがえるレモン色の旗を見るのを日々の楽しみにしている。学級の旗にする小さな布をもらいに来た級友に毎日寂しい思いをしていること、旗を見るのを楽しみにしていることを話す。数日後、少女の渡した赤いバラの刺繍を縫い付けた布を中心に学級の旗がはためく。学級の友人が一生懸命に縫ったのだ。友情のよさと、この町に引っ越してきたよさを味わう内容である。



少女

### 「思いやり」について感じたこと

・「思いやり」は人との関係を大きく左右させるものだと思います。自分は思いやりが出来ている実感はありません。この授業を機に、思いやりをもう一度考えてみたいと思います。(石川 敬悟)

- ・相手のために行動すること、相手が喜ぶこと、旗を作るときに少女の旗を真ん中にすることで相手にいろいろな思いが伝わったと思う。(渡邊 李)
- ・寂しい思いをしている人に、温かい言葉をかけたり、温かい行動をすること、そばにいなくても相手のことを考え思うことだと感じた。(木川 春菜)
- ・私は、周りから見たらどうか分からないけれど、思いやりの心をあまり持ててないと思います。相手の気持ちをしっかり考えて行動したいです。(清水 姫依)
- ・私は、人の気持ちをよく考えるけど、その人をいたわろうとは思わないから、「思いやり」のある人になりたい。(佐野 航太郎)
- ・今回の授業で、僕は思いやりをすることがあまりできていないと思った。人をたくさん思いやり、思いやりが思いやりを生めるようにしたいと思いました。(酒井 琉輝)
- ・思いやりの形も一つではなくて、さまざまな形があるのだと知った。思いやりを伝えることで人の心はここまで動くことがあるのだと分かった。(野田 明路)
- ・思いやりは「人が人に対して優しく接する」だけでなく「お互いを支え合う」意味もあると知った。(遠藤 隼)
- ・思いやりとは相手の気持ちを理解した上で、相手の気分が良くなる最善の手を尽くすことだと分かった。(渡邊 蕾斗)
- ・思いやりを持つことで、自分や相手が良い気持ちになることが分かりました。これからは、相手のことを、きちんと考えて行動することを心がけていきたいと思います。(岸山 莉乃)
- ・思いやりは、これから先も、大切にしなければならないことだと思った。(井出侑月葉)

### 健康観察アプリ リーバー

新型コロナウイルス感染症対策のため、毎朝の検温にご協力いただき感謝します。  
ここでひとつお願いがあります。登校前の検温と体温入力を確実にお願いします。

